

9月のできごと

24時間野球漬け

第1回24時間チャリティー野球 in ABIRAが8月29・30日の両日、ときわ野球場で行なわれました。恵庭や登別からの参加チームもあり、観戦者も楽しめるように野球以外のゲームを交えながら和気あいあいとした雰囲気の中で24時間を乗り切りました。集まった寄付金は地域福祉のために役立ててもらうため町へ寄附されます。



ぬくもりの湯で小学生の作品展

8月31日から10月2日までの間、ぬくもりの湯の作品展コーナーで追分小学校の夏休み作品展が開催されました。入浴に訪れた人は児童たちが創意工夫して作った工作や自由研究の成果に感心していました。



戦没者130名を追悼

9月3日町民センターで安平町戦没者追悼式が開催されました。第2次世界大戦で戦死された方は安平町で130名です。

先の大戦で亡くなられた戦没者一人ひとりの名前が読み上げられ、式典の実行委員長の瀧町長は「戦後64年を迎え、日本は繁栄しましたが、皆さんの尊い命が奪われたことを想い、冥福をお祈りします」と追悼の式辞。最後に遺族や来賓の皆さんが献花を行いました。



町内で救命講習会を開催

「救急の日」の9月9日に町民センターで29名が参加し救命講習会が開催されました。主催した安平支署では職員が講義と実技を指導。個人や事業所単位での申し込みもあり、受講者たちは人形を使い人工呼吸法などの心肺蘇生法やAEDの使い方を体験。緊急時の迅速な対処法を学びました。職員は「救命方法は以前と変わってきているので、再度講習を受け最新の方法を身につけてほしい。もし講習会の依頼があれば気軽に相談してください」と呼びかけていました。



追分庁舎前で

秋季総合演習

9月13日火災を想定した安平消防秋季総合演習が追分庁舎前で行われ、安平支署及び出張所の職員と消防団員が放水を開始して消火活動を実施。今回は逃げ遅れた人を救助する訓練も行われ、庁舎屋上からケガ人に扮した人形を地上へと搬送しました。最後に上田消防団長が講評の中で「火災を起こさないようにするのが第一ですが、もし火災が発生した場合に被害を最小限に抑えることも我々に課せられた使命のひとつだ」と述べられました。

